



鹿沼市

職人の技が輝く伝統技術

Kanuma kumiko

鹿沼組子



現代に引き継がれる美しい組子細工 The beauty of the work taken over for generations

高台の広大な敷地に、あえて部屋数を抑えたことで贅沢な時間を堪能できる「界 日光」。眼前の中禅寺湖、壮麗な男体山や日光連山など日光の大自然の眺め。そんな絵画のような美しい景色をさらに引き立たせるのが、日本の技術を象徴する伝統工芸品として注目されている「鹿沼組子」です。「界 日光」では掛け軸やコースター、障子など「鹿沼組子」で彩られた「ご当地部屋」に加え、2016年には湖を望むロビーに35種の文様を

配した「組子ライブラリー」も誕生しました。「木工の町」として全国的に名高い鹿沼市。江戸時代、日光東照宮造営のために全国から集められた職人たちにより、それぞれの技を活かした障子や雨戸などの建具づくりが盛んに行われ、その後、細工の技術や見た目の美しさへの追求心から障子づくりに使われる部材「組子」の木工文化が発展しました。繊細、かつ緻密な細工品の「鹿沼組子」。細く引き割った木に何千もの切り込みを入れ、釘などを

一切使わずに、ただひたすら手作業で組み合わせていくその技術は、日本の技術を象徴するにふさわしい伝統工芸品の真髄の極めと言っても、決して過言ではありません。

最高の贅沢品とされ、昔は和室に用いられることが多かった組子ですが、現在では日本の美意識を空間に表現できるアイテムとして、多様に活用するように。私たちの暮らしに豊かさとしみじみと与えてくれる組子は、熟練の組子職人による貴重な伝統技術の証なのです。

TOUR INFORMATION

星野リゾート 界 日光×鹿沼組子 宿泊プラン 手仕事に触れる 32,000円～ 現地ナビゲーターがご案内いたします。マイカー移動となります。

プラン詳細 星野リゾート 界 日光 宿泊(1泊2食付) — 11:00 道の駅うつのみや ろまんちっく村 — モリ工芸 — 木のふるさと伝統工芸館/屋台のまち中央公園 — 13:00 現地解散
11:00 まちの駅 新鹿沼宿 — 豊田木工所 — ※昼食料金はプラン料金に含まれません

詳しくはこちらへ えにしトラベル <https://enishi-travel.jp> 星野リゾート 界 日光 <http://kai-nikko.jp>